

東芝デジタル複合機

最新機能説明書

e-STUDIO2010AC

e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC

e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A

e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC

e-STUDIO6518A/8518A

© 2021 Toshiba Tec Corporation All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複製、複製を禁じます。


はじめに


このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機に搭載されている最新機能について説明しています。
これらの機能を使用する前に、本書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、本書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

注意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

| 対象機種 | 本文中の表記 |
|-------------------------------------|-----------------------|
| e-STUDIO2010AC | e-STUDIO5015AC Series |
| e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC | |
| e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A | e-STUDIO5018A Series |
| e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC | e-STUDIO7516AC Series |
| e-STUDIO6518A/8518A | e-STUDIO8518A Series |

オプション機器について

使用可能なオプション機器は、本機の**かんたん操作ガイド**をご覧ください。

画面と操作手順の説明について

本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 10を例に説明しています。

お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

本文中の初期値について

- 本書に記載している初期値は、標準的な使用環境の値です。導入時の環境に合わせて、初期値を変更している場合があります。なお、機種の違いにより初期値が異なるものは記載していません。
- 選択項目の初期値は、下線で表記しています。

□ 商標について

AirPrint, iPad, macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
その他の商標については**安全にお使いいただくために**をご覧ください。

目次

| | |
|--|-----------|
| はじめに..... | 3 |
| 第1章 ホーム画面 | |
| ホーム画面について..... | 8 |
| リモートアシスタントメニュー..... | 8 |
| 第2章 TopAccess | |
| 【管理者】 タブ..... | 10 |
| ネットワーク設定..... | 10 |
| ファクス設定..... | 16 |
| 証明書管理..... | 17 |
| レポート通知..... | 19 |
| アプリケーションリスト..... | 20 |
| 第3章 AirPrint機能 | |
| TopAccessでAirPrint機能の設定をする..... | 24 |
| セキュリティ証明の期限が切れ、AirPrintが使用できない場合..... | 24 |
| AirPrint機能に関する注意事項..... | 25 |
| AirPrint Faxをお使いいただく際に..... | 25 |
| 第4章 システム設定リスト | |
| リスト印字..... | 28 |
| システム設定リスト（管理者）..... | 28 |
| 索引..... | 29 |

1

ホーム画面

ホーム画面について

■ リモートアシスタントメニュー

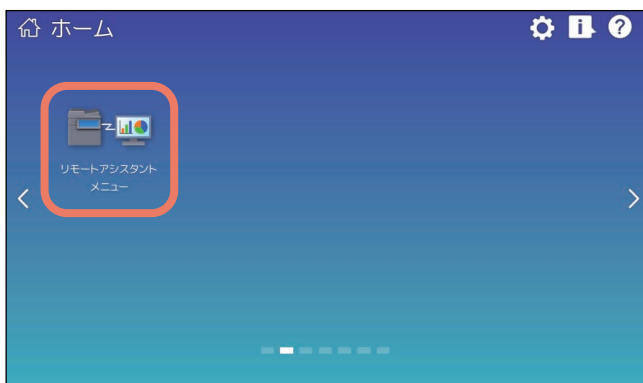
操作パネルのホーム画面に [リモートアシスタントメニュー] が表示されています*。

* お使いの機体によっては表示されていない場合があります。

リモートアシスタントメニューには、以下の3つの機能があります。

- **ログ送信**
問題解決のため、機体のログを送信または削除するための機能です。
- **リモート保守サービス**
機体をリモートで保守するための機能です。
- **リモート画面操作**
問題解決のため、機体をリモートで操作するための機能です。

サービスエンジニアまたは弊社販売店より依頼がありましたら、[リモートアシスタントメニュー] を押し、指示に従って操作してください。リモートアシスタントメニューの詳細については、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。



TopAccess

■ ネットワーク設定

□ SMBの設定

SMBでは、SMBネットワークの各プロパティを設定し、Microsoft Windowsネットワークによる本機へのアクセスや、SMB印刷を有効にします。SMBを有効にすると、SMB印刷が利用可能になるほか、本機の共有フォルダを参照できるようになります。また、異なるサブネット間のファイル共有やプリンタ共有をWINSサーバーを使って解決している場合は、WINSサーバーアドレスを指定します。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|--------------------|---|
| 1 | SMBサーバプロトコル | SMBの有効／無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効：SMBを有効にします。 • 無効：SMBを無効にします。 |
| 2 | サーバーのSMB 1.0サポート | SMB 1.0サーバー側の有効／無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効：SMB 1.0サーバーを有効にします。 • 無効：SMB 1.0サーバーを無効にします。 |
| 3 | クライアントのSMB 1.0サポート | SMB 1.0クライアント側の有効／無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効：SMB 1.0クライアントを有効にします。 • 無効：SMB 1.0クライアントを無効にします。 |
| 4 | 制限 | SMBで制限を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • なし：SMBで制限しない場合に選択します。 • プリント共有：共有フォルダの参照のみ有効にし、本機のSMB印刷を無効にします。 • ファイル共有：SMB印刷のみ有効にし、本機の共有フォルダの参照を無効にします。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|-------------------|--|
| 5 | NetBIOS名 | Windowsネットワーク上で表示される本機の名称を入力します。標準の設定では、「MFP<NICシリアル番号>」がNetBIOS名として設定されています。 |
| <p>注意</p> <p>NetBIOS名は、半角英数字と「-」（ハイフン）のみを使用して入力してください。それ以外の文字を使用して入力した場合は、警告メッセージが表示されます。</p> | | |
| 6 | ログオン | <p>本機が所属するワークグループ名またはドメイン名を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークグループ：本機をワークグループに参加させる場合は、ワークグループ名を入力します。すべてのクライアントコンピュータは、ユーザ名やパスワードを使用せずに本機にアクセスすることができます。 • ドメイン：本機をドメインにログオンさせる場合は、ドメイン名を入力します。ドメインのメンバとしてログオンしていないクライアントコンピュータから本機にアクセスするには、ユーザ名とパスワードが必要になります。本機へのアクセスを制限したい場合は、ドメインで管理します。 |
| <p>注意</p> <p>ワークグループ名は、半角英数字と以下の記号「; : " < > + = ¥ ? , * #」以外の文字とひらがな、漢字を使用して入力してください。ドメイン名は、半角英数字と以下の記号「; : " < > + = ¥ ? , * #」以外の文字を使用して入力してください。それ以外の文字を使用して入力した場合は、警告メッセージが表示されます。</p> | | |
| 7 | プライマリドメイン コントローラ | 本機をドメインにログオンさせる場合に、プライマリドメインコントローラのサーバー名またはIPアドレスを指定します。半角英数字と記号（= ; # ¥を除く）で128文字まで入力できます。 |
| 8 | バックアップドメイン コントローラ | 本機をドメインにログオンさせる場合に、必要に応じてバックアップドメインコントローラのサーバー名またはIPアドレスを指定します。プライマリドメインコントローラが使用できない場合に、バックアップドメインコントローラが使用されます。半角英数字と記号（= ; # ¥を除く）で128文字まで入力できます。 |
| <p>注意</p> <p>プライマリドメインコントローラおよびバックアップドメインコントローラに誤った設定を行うと、Windowsネットワーク内のプライマリドメインコントローラおよびバックアップドメインコントローラを最大4分程度検索するとともに、検索中はタッチパネルの「ネットワーク準備中」表示が消えません。この場合は、「ネットワーク準備中」表示が消えた後、プライマリドメインコントローラおよびバックアップドメインコントローラに正しい設定を行ってください。</p> | | |
| 9 | デバイス名 | 指定したドメインにログオンするための、本機のデバイス名（ログオンユーザ名）を入力します。半角英数字と記号（"/ ¥ [] ; = , + * ? < >を除く）で128文字まで入力できます。 |
| 10 | パスワード | 指定したデバイス名（ログオンユーザ名）のパスワードを入力します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。 |
| 11 | プライマリWINSサーバーアドレス | WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、プライマリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。異なるサブネットからNetBIOS経由でアクセスしたい場合に設定します。 |
| <p>補足</p> <p>TCP/IPの設定で [WINSサーバーアドレス取得] オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスを取得することができます。</p> | | |

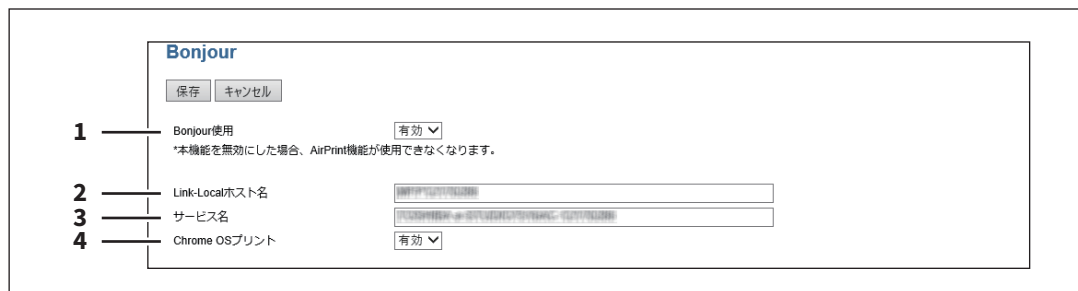
| | 項目名 | 機能説明 |
|----|---|--|
| 12 | セカンダリWINSサーバーアドレス | WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、必要に応じてセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。プライマリWINSサーバーが使用できない場合に、セカンダリWINSサーバーが使用されます。 |
| | <p>補足</p> <p>TCP/IPの設定で [WINSサーバーアドレス取得] オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスを取得することができます。</p> <p>注意</p> <p>[プライマリWINSサーバーアドレス] および [セカンダリWINSサーバーアドレス] に、[0.0.0.0] を入力した場合は、WINSの設定は無効になります。</p> | |
| 13 | スーパースリープモード時のホストアナウンスメント送信 | <p>スーパースリープモード時でも、Windowsコンピュータの「ネットワーク」フォルダ内に本機のアイコンを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効：スーパースリープモード時のホストアナウンスメント送信を無効にします。 • 有効：スーパースリープモード時でも、Windowsコンピュータの「ネットワーク」フォルダ内に本機のアイコンを表示します。 |
| | <p>注意</p> <p>本機のスーパースリープモードが [無効] の場合、本設定に関係なくWindowsコンピュータの「ネットワーク」フォルダ内に本機のアイコンを表示します。</p> | |
| 14 | ゲストログオン | ゲストユーザがSMBサーバーにログオンできるかどうかを選択します。初期値は [有効] に設定されています。 |
| 15 | ユーザ名 | [ゲストログオン] が [無効] の場合、SMBサーバーにログオンするためのユーザ名を入力します。半角の英数字と記号（"/ ¥ [] ; = , + * ? < > を除く）で32文字まで入力できます。 |
| | <p>注意</p> <p>ユーザ名を変更する前に本機のSMBサーバーに接続した場合、Windowsコンピュータにユーザ名およびパスワードの資格情報がキャッシュされていますので、資格情報をクリアするためにWindowsコンピュータを再起動してください。</p> | |
| 16 | パスワード | [ゲストログオン] が [無効] の場合、指定したユーザ名のパスワードを入力します。半角の英数字と記号で128文字まで入力できます。 |
| | <p>注意</p> <p>パスワードを変更する前に本機のSMBサーバーに接続した場合、Windowsコンピュータにユーザ名およびパスワードの資格情報がキャッシュされていますので、資格情報をクリアするためにWindowsコンピュータを再起動してください。</p> | |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|--------------|--|
| 17 | SMBクライアントの認証 | <p>SMBクライアントの認証方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Kerberos/NTLMv2 : Kerberos/NLTMv2認証を使用してSMBサーバーに接続する場合に選択します。Kerberos認証に失敗した場合はNTLMv2認証を行います。 • Kerberos/NTLMv1 : Kerberos/NTLMv1認証を使用してSMBサーバーに接続する場合に選択します。Kerberos認証に失敗した場合はNTLMv1認証を行います。 • Kerberos : Kerberos認証を使用してSMBサーバーに接続する場合に選択します。 • NTLMv2 : NTLMv2認証を使用してSMBサーバーに接続する場合に選択します。 • NTLMv1 : NTLMv1認証を使用してSMBサーバーに接続する場合に選択します。 |
| <p>注意 Mac OS X 10.10以降のSMBサーバーは、NTLMv1認証に対応していません。</p> | | |
| 18 | SMBサーバのSMB署名 | <p>クライアントが本機の共有フォルダにアクセスする場合など、クライアントから本機にSMBでアクセスする際に、SMB署名を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • クライアントの同意により通信にデジタル署名を行う : クライアントがデジタル署名を使用してSMB通信した場合のみ、デジタル署名を使ってSMB通信を保護します。クライアントがデジタル署名を使用していない場合は、デジタル署名を使用せずにSMB通信を行います。 • 常にサーバ側の通信にデジタル署名を行う : クライアントがデジタル署名を使用してSMB通信した場合のみ、本機と通信ができるようにします。クライアントがデジタル署名を使用せずに本機にSMB通信した場合は、本機とSMB通信することはできません。 • サーバの通信にデジタル署名を行わない : クライアントがデジタル署名を使わずにSMB通信した場合のみ、本機と通信ができるようにします。クライアントが常にデジタル署名を使用してSMBサーバーにアクセスするよう設定されている場合は、本機とSMB通信することはできません。 |
| <p>注意 クライアントコンピュータでSMBクライアントのSMB署名の設定がどのように設定されているか分からない場合は、[クライアントの同意により通信にデジタル署名を行う]を設定してください。誤ったSMB署名の設定を行うと、SMB通信ができなくなる恐れがあります。</p> | | |

| | 項目名 | 機能説明 |
|----|-----------------|---|
| 19 | SMBクライアントのSMB署名 | <p>ネットワークフォルダにスキャンデータを保管する場合など、本機からSMBサーバーにアクセスする際に、SMB署名を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サーバの同意により通信にデジタル署名を行う：通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合のみ、デジタル署名を使ってSMB通信を保護します。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が無効の場合は、デジタル署名を使用せずにSMB通信を行います。 • 常にクライアント側の通信にデジタル署名を行う：常にデジタル署名を使用してSMBサーバーとSMB通信を行います。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が無効の場合は、SMBサーバーと通信することはできません。 • クライアントの通信にデジタル署名を行わない：デジタル署名を使用せずにSMBサーバーとSMB通信を行います。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合は、SMBサーバーと通信することはできません。 |
| | 注意 | <ul style="list-style-type: none"> • 通信するSMBサーバーでSMBサーバーのSMB署名の設定がどのように設定されているか分からない場合は、[サーバの同意により通信にデジタル署名を行う]を設定してください。誤ったSMB署名の設定を行うと、SMB通信ができなくなる恐れがあります。 • Windows Server 2012以降では、デフォルトの設定で常にサーバー側の通信にデジタル署名を行うよう設定されています。Windows Server 2012以降とSMB通信を行う場合は、[サーバの同意により通信にデジタル署名を行う] または [常にクライアント側の通信にデジタル署名を行う] を設定してください。 |

□ Bonjourの設定

Mac OS XのBonjourネットワークの有効/無効を設定します。



| | 項目名 | 機能説明 |
|---|----------------|---|
| 1 | Bonjour使用 | Bonjourの有効/無効を選択します。初期値は [有効] に設定されています。 |
| 2 | Link-Localホスト名 | 本機のDNS名を入力します。半角英数字と記号 (= ; # ¥を除く) で127文字まで入力できます。 |
| 3 | サービス名 | Bonjourネットワークに表示される本機の名称を入力します。半角英数字と記号 (= ; # ¥を除く) で63文字まで入力できます。 |
| 4 | Chrome OSプリント | Chrome OS印刷サービスの有効/無効を選択します。初期値は [有効] に設定されています。 |

□ リモート操作設定 (VNC)

タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末やコンピュータを使って操作パネルを見たり操作できます。

注意

- このリモート操作機能の初期パスワードは「d9kvgn」です。必ず変更してから、この機能を使用してください。パスワードは、6文字以上8文字以下の英数字で指定してください。
- リモート操作できるモバイル端末やコンピュータは1台のみです。

補足

- リモート操作するには、Windows 8.1以降でUltraVNC（クライアントソフトウェア）をお使いいただくことをお勧めします。
- リモート操作が有効な場合は、本機はスーパースリープモードに移行できません。

| 項目名 | 機能説明 |
|--|---|
| 1 リモート操作使用 (VNC) | リモート操作の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効：リモート操作を有効にします。 無効：リモート操作を無効にします。 |
| 2 旧パスワード | リモート操作の旧パスワードを入力します。 |
| 3 新しいパスワード | リモート操作の新パスワードを入力します。 |
| 4 パスワードの確認 | リモート操作の新パスワードを再入力します。 |
| 5 SSL/TLS使用 | リモート操作時にSSL (Secure Sockets Layer) /TLS (Transport Layer Security) を使用するが選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効：SSL/TLSを有効にします。 無効：SSL/TLSを無効にします。 |
| 6 リモート画面操作使用 | リモート画面操作機能の有効/無効を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効：リモート画面操作を有効にします。 無効：リモート画面操作を無効にします。 |
| 注意 「リモート画面操作使用」については、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。 | |
| 7 公開範囲 | リモート画面操作機能の公開範囲を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 管理者：管理者を許可します。 一般ユーザー：一般ユーザーを許可します。 |
| 8 中継サーバーアドレス | リモート画面操作に使用する中継サーバーのIPアドレス/ポート番号を入力します。 |


■ ファクス設定

□ アプリケーションへの受信転送設定

受信原稿（ファクスで受信した画像ファイル）とアプリケーションの動作に利用可能な受信情報（メタデータ）をアプリケーションのストレージ領域に保存するかを設定します。アプリケーションの詳細については、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

注意

- 受信原稿を利用するアプリケーションが本機にインストールされていない、またはアプリケーションの実行許可が無効に設定されている場合は、使用できません。
- 保存可能な文書数は1ボックスまたは1フォルダあたり最大400文書、構成可能なページ数は1文書あたり最大200ページです。保存可能な文章数を超過しようとした場合、ファイリングボックスへの保存に失敗します。ボックスまたはフォルダ内のドキュメントを定期的に削除するか、文書保存期間を設定して自動で削除してください。

| 項目名 | 機能説明 |
|----------------|---|
| 1 受信転送の使用 | アプリケーションのストレージ領域に受信原稿を保存する場合は、[有効] に設定します。初期値は [無効] に設定されています。 |
| 注意 | [受信転送の使用] を [有効] に設定すると、他の転送設定が [有効] に設定されている場合であってもアプリケーションへの受信転送設定が優先されます。 |
| 2 バックアップ設定 | 指定したボックスに受信原稿をバックアップとして保存する場合は、[有効] に設定します。初期値は [無効] に設定されています。 |
| 補足 | [受信転送の使用] が [有効] に設定されている場合に表示されます。 |
| 3 [ボックス設定] ボタン | 受信原稿を保存するボックスを変更する場合やフォルダ名を変更の場合にクリックします。クリックすると [ボックス設定] 画面が表示されます。  P.16 「ボックス設定（アプリケーションへの受信転送設定）」 |
| 補足 | [バックアップ設定] が [有効] に設定されている場合に、設定を変更することができます。 |

□ ボックス設定（アプリケーションへの受信転送設定）

受信原稿をバックアップする宛先を設定します。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|-------|---|
| 1 | 宛先 | アプリケーションのストレージ領域内に、受信原稿を保存するボックスを設定します。 ボックス番号 受信原稿を保存するボックス番号を選択します。 パスワード 受信原稿を保存するボックス番号を選択します。初期値は「000：共有ボックス」。 パスワードの確認 確認のためにパスワードを再入力します。 |
| 2 | フォルダ名 | 受信原稿を保存するボックス内のフォルダ名を入力します。64文字まで入力できます。 |
| 3 | 文書名 | 複合機が自動的に付けるジョブごとの番号（ジョブID）が文書名として表示されます。文書名は、変更できません。 |

■ 証明書管理

デバイス証明、クライアント証明などの管理ができます。

補 足

[証明書管理] サブメニューは、[管理者] タブの [セキュリティ] メニューからアクセスできます。

□ デバイス証明書

無線LAN、IEEE 802.1X認証、IPsec、またはSSL/TLSを利用した暗号化通信を行うときのデバイス証明書の設定を行います。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|-------|--|
| 1 | 自己証明書 | お使いの機器からSSL/TLSを利用した暗号化通信の証明書を作成します。 [作成] ボタン ：[自己証明書作成] 画面が表示され、証明書に必要な項目を設定して、自己証明書を作成します。 P.18 「[自己証明書作成] 画面」 [エクスポート] ボタン ：作成した自己証明書をエクスポートします。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|------------|---|
| 2 | インポート | 無線LAN、IEEE 802.1X認証、IPsec、またはSSL/TLSを利用した暗号化通信の証明書をインポートします。 [参照] ボタン ：証明書ファイルを選択します。 [アップロード] ボタン ：選択した証明書ファイルをアップロードします。 [削除] ボタン ：登録済みの証明書ファイルを削除します。 |
| 3 | SCEP（自動取得） | IPsecまたはSSL/TLSを利用した暗号化通信の証明書を自動取得します。 CAサーバーアドレス（プライマリ） ：CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。 CAサーバーアドレス（セカンダリ） ：CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。 証明書内Common NameのMFPアドレス ：証明書のCommon Nameに記述する本機のアドレスを、IPアドレスまたはFQDNのどちらにするかを選択します。初期値は「IPアドレス」に設定されています。 タイムアウト ：CAサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力します。1～120秒の範囲で設定します。初期値は「10」に設定されています。 CAチャレンジ ：CAチャレンジのパスワードを設定します。半角英数字32文字まで入力できます。はじめてパスワード長を拡張する場合は、最大32英数字を入力する必要があります。 SAN ：必要に応じてSAN属性を設定します。 で区切り、DNS、IPアドレス、URI、Eメールアドレス、OIDを入力します。DNSは半角英数字と.-で253文字まで入力できます。URIは半角英数字と-._~:!/ ? # ! @ \$ ' () * + ; =が使用できます。Eメールアドレスは@.を含む必要があります。 署名アルゴリズム ：署名のアルゴリズムをSHA1かMD5を選択します。 ポーリング間隔 ：ポーリング間隔を設定します。初期値は「1分」に設定されています。 ポーリング持続時間 ：ポーリングを行う時間を設定します。初期値は「8時間」に設定されています。 [リクエスト] ボタン ：ボタンを押すと証明書をリクエストします。 [削除] ボタン ：登録済みの証明書を削除します。 |

【自己証明書作成】画面

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|-------------|-----------------------------------|
| 1 | 〔保存〕 ボタン | 自己証明書を保存します。 |
| 2 | 〔キャンセル〕 ボタン | 作成を中止します。 |
| 3 | 国/地域名 | 半角英数字と記号2文字で国名または地域名を入力します。（例：JP） |

| | 項目名 | 機能説明 |
|----|----------|--|
| 4 | 都道府県名 | 半角英数字と記号で都道府県名を入力します。最大128文字まで入力できます。 |
| 5 | 市区町村名 | 半角英数字と記号で市区町村名を入力します。最大128文字まで入力できます。 |
| 6 | 組織名 | 半角英数字と記号で組織名を入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| 7 | 部署名 | 半角英数字と記号で部署名を入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| 8 | 一般名 | 半角英数字と記号で本機のFQDNまたはIPアドレスを名前として入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| 9 | Eメールアドレス | 半角英数字と記号でEメールアドレスを入力します。最大64文字まで入力できます。 |
| 10 | 有効期間 | 自己証明書の有効月数を入力します。 |

■ レポート通知

□ ジョブ通知情報イベント

1 — **ジョブ通知情報イベント**

1 — **スキャン**

- エラーメッセージを送信する
- ジョブ完了メッセージを送信する

2 — **ファクス/インターネットファクス受信**

- エラーメッセージを送信する
- ジョブ完了メッセージを送信する

3 — **ファクス受信転送**

- エラーメッセージを送信する
- ジョブ完了メッセージを送信する

4 — **インターネットファクス受信転送**

- エラーメッセージを送信する
- ジョブ完了メッセージを送信する

通知するジョブにチェックを付けます。

| | 項目名 | 機能説明 |
|---|------------------------|----------------------------------|
| 1 | スキャン | エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する |
| 2 | ファクス/インターネット ファクス受信 | エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する |
| 3 | ファクス受信転送 | エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する |
| 4 | インターネットファクス受 信転送 | エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する |

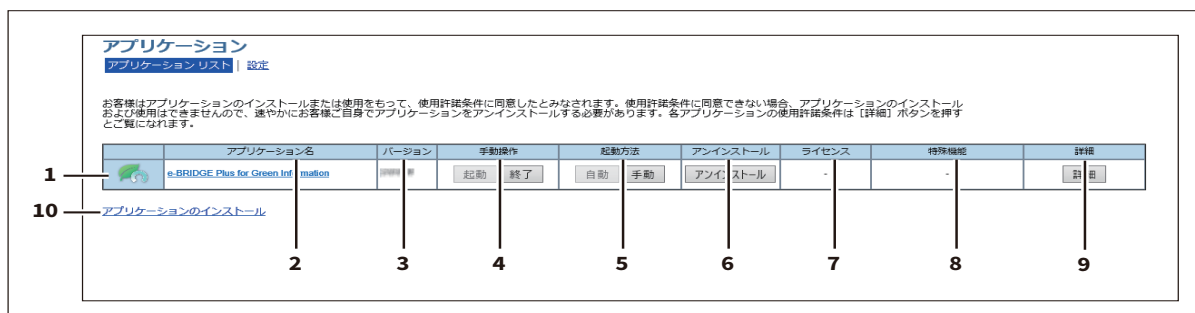
注意

ご使用のアプリケーションによっては、[ジョブ通知情報イベント] の各項目にチェックを付けている場合でも、以下のアプリケーションが転送した結果は送信されません。

- アプリケーション用ストレージへ保存した結果
- バックアップ用のファイリングボックスへ保存した結果
- アプリケーションが受信画像をクラウドなどへ転送した結果

■ アプリケーションリスト

インストール済みのアプリケーションリストを表示します。
各アプリケーションの開始/終了や起動方法の設定、アンインストールやインストールとアプリケーションを管理することができます。



| | 項目名 | 機能説明 |
|---|--------------|---|
| 1 | アプリケーションアイコン | アプリケーションのアイコンを表示します。 |
| 2 | アプリケーション名 | アプリケーションの名称を表示します。 アプリケーション名をクリックすると、アプリケーションを設定するページが表示されます。 |
| 3 | バージョン | アプリケーションのバージョンを表示します。 |
| 4 | 手動操作 | アプリケーションの起動/終了操作を手動で行います。 アプリケーションパッケージがバックグラウンドアプリケーションを含む場合のみ表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 起動：アプリケーションを起動します。 • 終了：アプリケーションを終了します。 |
| 5 | 起動方法 | アプリケーションの起動方法を変更します。 アプリケーションパッケージがバックグラウンドアプリケーションを含む場合のみ表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動：MFP起動後およびインストール後にアプリケーションを自動で起動します。 • 手動：アプリケーションを手動で起動します。 |
| 6 | アンインストール | アプリケーションをアンインストールします。 このボタンをクリックすると、アプリケーションをアンインストールするページが表示されアンインストールすることができます。 |
| 7 | ライセンス | アプリケーションを使用するためのライセンスファイルのインストール状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • —：ライセンスファイルのインストールは不要です。 • 無効：ライセンスファイルがインストールされていないため、アプリケーションを使用できません。ライセンスが無効なアプリケーションを使用する場合は、サービスエンジニアにお問い合わせください。 • 有効：ライセンスファイルがインストールされており、アプリケーションを使用できます。 |
| 8 | 特殊機能 | 特殊機能の詳細については、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。 |

| | 項目名 | 機能説明 |
|----|---|--|
| 9 | 詳細 | <p>アプリケーションの詳細情報を表示します。 このボタンをクリックすると、アプリケーションの名称、バージョン、フレームワークバージョン、アプリケーションID、製品ID、認証、ライセンス、状態、概要、販売元、URL、使用許諾契約、ReadMeおよび言語が表示されます。 アプリケーション起動時に部門認証またはユーザ認証を行うかを、個別のアプリケーションごとに設定できます。[詳細] をクリックして [アプリケーション詳細] 画面を開き、[認証] から [有効] を選択して [保存] をクリックすると、そのアプリケーションの起動時に認証画面が表示されます。[無効] を選択して [保存] をクリックすると、認証画面を表示しません。設定を中止するには、[キャンセル] をクリックします。この [認証] 設定は、アプリケーションの次回起動時に有効となります。なお、バックグラウンドアプリケーションには表示されません。</p> |
| | <p>補 足</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーション起動時にユーザ認証を行いたい場合は「機能別ユーザ認証設定」を有効にしてください。 • 認証が必須のアプリケーションおよび認証設定がないアプリケーションの場合、[認証] を変更できません。 • 使用許諾契約の表示をクリックすると、使用許諾契約の内容が表示されます。 • 言語はアプリケーションに言語パックを含む場合、表示されます。 • 受信原稿（ファクスで受信した画像ファイル）を利用するアプリケーションがインストールされている複合機（本機）で [受信転送の使用] を [有効] に設定した場合、[受信原稿を利用する] が [有効] で表示されます。 | |
| 10 | アプリケーションのインストール | <p>アプリケーションをインストールします。 このリンクをクリックすると、アプリケーションをインストールするページが表示されます。このページからアプリケーションの配布パッケージのファイル名を指定してインストールすることができます。</p> |
| | <p>補 足</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションをインストールまたは使用すると、使用許諾契約に同意したとみなされます。使用許諾契約に同意できない場合、アプリケーションをアンインストールしてください。 • アプリケーションの配布パッケージはあらかじめ入手してください。 • 複数のアプリケーションパッケージをインストールする場合は、1つずつインストールしてください。 • 受信原稿（ファクスで受信した画像ファイル）を利用するアプリケーションは、1台の複合機に2つ以上インストールすることはできません。 • 受信原稿を利用するアプリケーションがインストールされている複合機に、受信原稿を利用する別のアプリケーションをインストールしようとした場合、エラーメッセージ「最大登録数を超過しました。これ以上の登録は出来ません。」が表示されます。 • アプリケーションをインストールする際、フレームワークのバージョンが古い旨のメッセージが表示された場合、本機のシステムをアップデートしてください。詳細については、サービスエンジニアにお問い合わせください。 | |

AirPrint機能

■ セキュリティ証明の期限が切れ、AirPrintが使用できない場合

操作中のmacOS画面に暗号化の資格情報の有効期限切れが表示され、AirPrintでセキュリティ通信（*1または*2）を利用したmacOS AirPrint Print、macOS AirPrint Fax、macOS AirPrint Scanが使用できなくなった場合は、TopAccessで「デバイス証明」の「自己証明書」を再作成してください。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」 — 「[セキュリティ] 設定／操作方法」 — 「デバイス証明書をインストールする」

*1: IPP印刷使用：有効、SSL/TLS使用：有効

詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」 — 「[セットアップ] 設定／操作方法」 — 「プリントサービス設定をセットアップする」

*2: セキュアスキャン (SSL/TLS)：有効

詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

AirPrint取扱説明書 第1章「AirPrint機能を使用する」 — 「TopAccessでAirPrint機能の設定をする」 — 「AirPrint機能の有効／無効」

補 足

- iOS AirPrint Printは、使用できます。
- セキュリティ対策の観点から、「自己証明書」の有効期限は13ヵ月を推奨します。
- 新しい「自己証明書」の設定後、1回目のAirPrintを使用したときに表示されるプリント再開のポップアップ画面で、「再開」をクリックしてください。2回目以降、このポップアップ画面は表示されません。

■ AirPrint Faxをお使いいただく際に

ファクス番号には0から9の数字、*、#、-、pが使用できます。-およびpはポーズとして機能、#はトーン切り替えとしても機能します。本機の送信履歴では、pは-で表示されます。

システム設定リスト

リスト印字

■ システム設定リスト (管理者)

ファクス設定

| リスト項目 | 説明 | ユーザ |
|----------------------------|-----------------------|-----|
| アプリケーションへの受信転送設定- 受信転送の使用 | ファクス受信転送の有効/無効 | × |
| アプリケーションへの受信転送設定- バックアップ設定 | 受信したファクスのバックアップの有効/無効 | × |

ネットワーク設定 - セッション - SMBセッション

| リスト項目 | 説明 | ユーザ |
|--------------------|----------------------|-----|
| サーバーのSMB 1.0サポート | SMB 1.0サーバー側の有効/無効 | × |
| クライアントのSMB 1.0サポート | SMB 1.0クライアント側の有効/無効 | × |

ネットワーク設定 - セッション - BONJOURセッション

| リスト項目 | 説明 | ユーザ |
|---------------|-----------------------|-----|
| Chrome OSプリント | Chrome OS印刷サービスの有効/無効 | × |

索引

| | |
|-------------------------------------|----|
| A | |
| AirPrint機能 | 23 |
| B | |
| Bonjourの設定 | 14 |
| S | |
| SMBの設定 | 10 |
| T | |
| TopAccess | 9 |
| あ | |
| アプリケーションへの受信転送設定 | 16 |
| アプリケーションリスト | 20 |
| か | |
| 管理者 タブ | 10 |
| し | |
| 自己証明書作成 | 18 |
| システム設定リスト (管理者) | 28 |
| 証明書管理 | 17 |
| ジョブ通知情報イベント | 19 |
| て | |
| デバイス証明書 | 17 |
| ね | |
| ネットワーク設定 | 10 |
| ふ | |
| ファクス設定 | 16 |
| ほ | |
| ホーム画面 | 7 |
| ボックス設定 (アプリケーションへの 受信転送設定) | 16 |
| り | |
| リスト印字 | 28 |
| リモートアシスタントメニュー | 8 |
| リモート画像操作機能 | 8 |
| リモート操作設定 (VNC) | 15 |
| リモート保守サービス機能 | 8 |
| れ | |
| レポート通知 | 19 |
| ろ | |
| ログ送信機能 | 8 |

FC-2010AC
FC-2515AC/3515AC/4515AC/5015AC
DP-2518A/3518A/4518A/5018A
FC-5516AC/6516AC/7516AC
DP-6518A/8518A
OMJ21007000

東芝デジタル複合機

最新機能説明書

e-STUDIO2010AC

e-STUDIO2515AC/3515AC/4515AC/5015AC

e-STUDIO2518A/3518A/4518A/5018A

e-STUDIO5516AC/6516AC/7516AC

e-STUDIO6518A/8518A

東芝テック株式会社

